

3224MHz対応  
インフィニット分配器/混合器 Model HEINF08E



このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をお読みください。



このマークは放送法「不要放射34dB $\mu$ V/m以下」に準拠・設計された「無線LANや携帯電話など、電波の影響を受けにくい・与えにくい製品」に表記される当社独自のマークです。



ご使用になる前に

- 本製品は電流通過できません。
- 4K・8K放送に対応したシステム伝送をおこなう場合、使用機器・同軸ケーブルなどはすべて3224MHzまでの周波数帯域で性能が保証されているものをご使用ください。

- 同梱品 取扱説明書……………1部
- 試験成績書……………1部

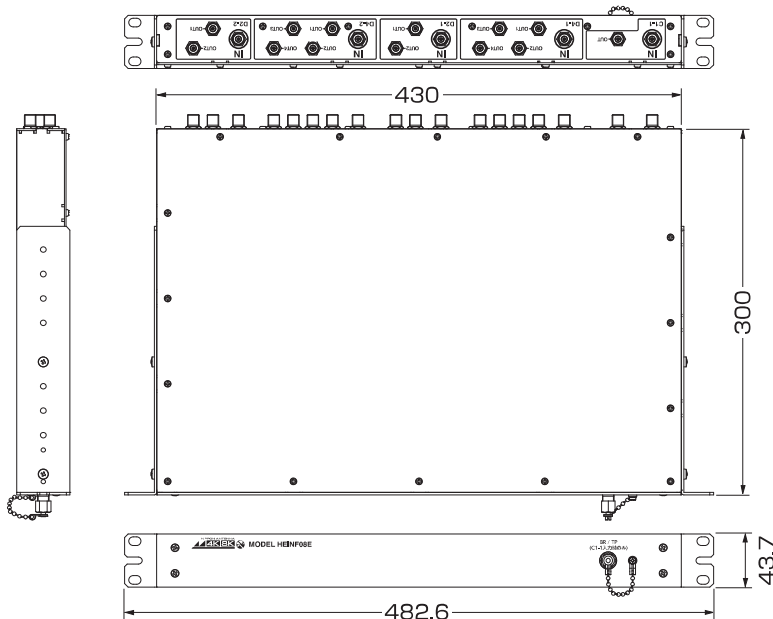
取扱説明書

外観および寸法図	……………1
安全上の注意	……………2
メンテナンス	
廃棄上の注意	
各部の名称	……………3
標準性能表	……………4

施工説明書

設置場所・条件	……………5
同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法	
締付トルク	
取付方法	……………6
接続例	……………7
使用例	……………8

外観および寸法図



単位：mm  
質量：約3.0kg

## 安全上の注意

### 絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただいたうえで本文をお読みください。

絵表示の例	 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 △記号は注意（注意・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。	 ○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
			 ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般指示）が描かれています。

## 警告



雷が鳴りだしたら接続ケーブルや機器には触れない。  
●感電の原因となります。

## 注意



機器を移動させるときは、接続されている線などをすべて外す。

- 機器が倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



煙やにおい、音などの異常が発生したらすぐに使用をやめる。  
●そのまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。販売店に点検をご依頼ください。



機器固定ねじは確実に締め付ける。  
●ゆるみがあると、機器が落下してけがの原因となることがあります。  
●締めトルクが指定されている場所はその指定のトルクで締め付けてください。



同軸ケーブルの芯線に触れない。  
●指に刺してけがの原因となることがあります。



分解したり、改造したりしない。  
●けがの原因となることがあります。  
●点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



悪条件の場所に置かない・設置しない。

- ・不安定な場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・温度が高くなる場所（車内、サンルームなど）
- ・油煙や湯気が当たる場所（調理場など）
- ・湿気が高い場所（屋外、風呂場、シャワー室、加湿器付近など）
- ・ほこりの多い場所（物置、屋根裏など）



●機器が落下して、けがの原因となることがあります。



## メンテナンス

- いつまでも美しい映像をお楽しみいただくために、1年に1回は専門業者に受信状態、ケーブル接続、ボルト・ナット、ねじの取付状態の点検や増し締めなどの保守をご依頼ください。

## 廃棄上の注意

- この製品のすべて、または部品を廃棄する場合は、産業廃棄物として処理してください。

## 取扱上の注意

- 取付工事は、専門業者にご依頼ください。

## 使用上の注意

- 入力端子・出力端子のケーブル配線および接続は確実にこなってください。（入力端子・出力端子のケーブル配線や接続方法が悪いと映像が乱れる原因となります。）
- 空き端子がある場合は、ダミー抵抗をお求めのうえ必ず接続してください。ダミー抵抗を接続しないと、チャンネル間のレベル差が大きくなったり、本製品から不要な電波が漏れたり、周辺機器から不要な電波が混入する恐れがあります。
- 設置の際は必ず本製品の重量に耐え得るL型レールなどをご使用ください。
- BR/TP端子をご使用の際は、必ずC1-1に信号を入力してください。

## 各部の名称

### 前面

取付金具  
JIS規格1H、EIA規格1Uに対応した取付金具です。  
取付位置の調整が可能です。(詳細はP.6の取付方法を参照)



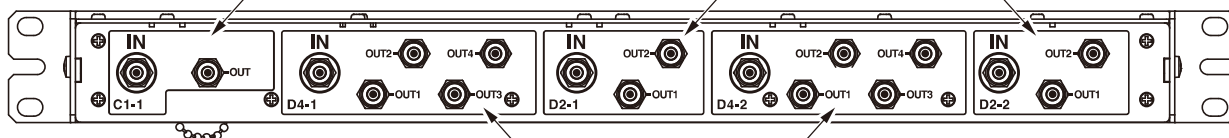
BR/TP端子  
C1-1入力時のみ使用可能です。

鎖付きメタルキャップ  
ご使用後はしっかり締め付けてください。

### 背面

C1-1 1分岐  
入力した信号を出力 (OUT端子)、  
分岐 (前面側BR/TP端子) します。

D2-1、D2-2 2分配  
入力した信号を2分配して  
出力します。(OUT1~2端子)



D4-1、D4-2 4分配  
入力した信号を4分配して  
出力します。(OUT1~4端子)

### ポイント

混合器として使用する場合は、D2-1、D2-2、D4-1、D4-2のOUT端子に信号を入力し、IN端子から出力してください。(P.7の接続例「8波混合器として使用する場合」を参照)

## 標準性能表

### ●D2-1、D2-2

項 目	性 能							
周波数帯域 (MHz)	10~76	76~222	222~470	470~770	770~1489	1489~2150	2150~2681	2681~3224
分配損失 (dB以下)	4.5	4.5	4.5	5.0	5.5	6.5	7.5	8.5
端子間結合損失 (dB以上)	15	20	20	20	15	15	15	15
電圧定在波比 (以下)	2.0	1.6	1.6	1.6	2.0	2.2	2.5	2.5

### ●D4-1、D4-2

項 目	性 能							
周波数帯域 (MHz)	10~76	76~222	222~470	470~770	770~1489	1489~2150	2150~2681	2681~3224
分配損失 (dB以下)	8.5	8.5	8.5	8.5	10.0	12.0	13.0	14.5
端子間結合損失 (dB以上)	15	20	18	18	15	15	15	15
電圧定在波比 (以下)	2.0	1.8	1.6	1.6	2.0	2.5	2.5	2.5

### ●C1-1

項 目	性 能							
周波数帯域 (MHz)	10~76	76~222	222~470	470~770	770~1489	1489~2150	2150~2681	2681~3224
挿入損失 (dB以下)	1.8	1.5	2.0	2.0	3.0	4.5	5.0	6.0
結合損失 (dB以下)	12	12	12	12.5	13	15	17	18
逆結合損失 (dB以上)	18	20	20	20	18	15	15	15
電圧定在波比 (以下)	2.0	1.6	1.6	1.8	2.0	2.5	2.5	2.5

### ●その他

項 目	性 能
漏洩電界強度 ※1 (dB $\mu$ V/m以下)	34
インピーダンス ( $\Omega$ )	75
使用温度範囲 ( $^{\circ}$ C) ※2	-10~+40
質 量 (kg)	約3.0

※1 3m法による  
 ※2 本体周囲温度

# 施工説明書

## 設置場所・条件

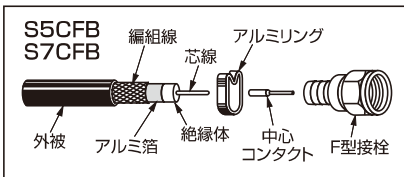
- 高温(40℃を超える)の場所、直射日光にあたる場所、有毒ガスなどの発生する場所は避けてください。
- 電気配線、電気工作物の近くや、強い電磁波を受ける場所を避けてください。
- メンテナンスに容易な場所を選定してください。

## 同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法(別売品)

### ◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ、圧着工具。

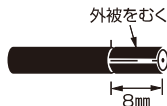
### ■各部の名称



### ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。
- 同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。
- ピン付接栓をご使用にならない場合は、芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。

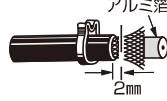
- ① カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)



- ② 外被をむき、アルミリングを通しておきます。



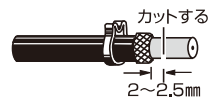
- ③ 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。



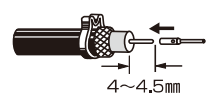
- ④ 編組線をめくり返します。



- ⑤ 編組線から2mmはなしてアルミ箔、絶縁体を切り、抜きとります。



- ⑥ 芯線を4~4.5mmにカットし、中心コンタクトを芯線に根元まで挿入してペンチ、圧着工具などで中心コンタクトが抜けないうようカシメます。



- ⑦ F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。



**⚠注意** 加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因になります。

## 締付トルク

F型接栓、ダミー抵抗

約2.0N・m(約20kgf・cm)

外觀および寸法図

安全上の注意  
廃棄上の注意  
メンテナンス

取扱説明書

各部の名称

標準性能表

設置場所条件  
同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法・締付トルク

取付方法

接続例

使用例

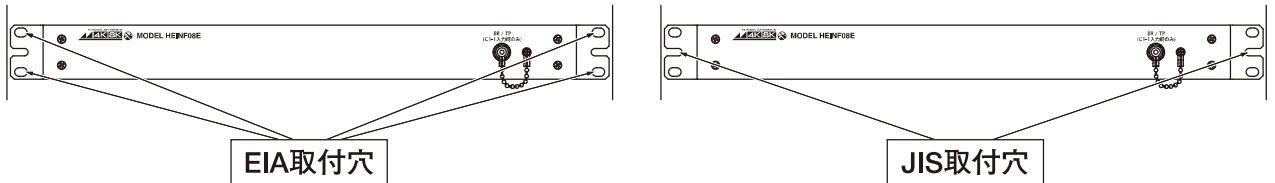
施工説明書

## 取付方法

### ●取付金具の取付穴について

本製品は、JIS規格1H、EIA規格1Uのラックに取付可能です。  
取付の際はラックに対応したねじと取付穴をご使用ください。

ラック取付時のねじ締付トルク：約1.5N・m(約15kgf・cm)



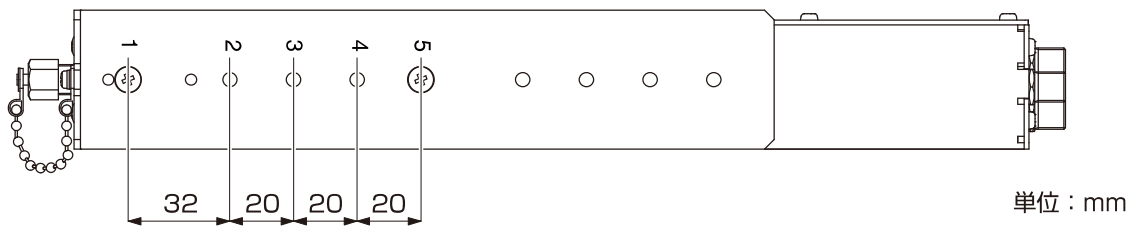
### ●取付位置調整方法

取付金具の位置を変えることにより、下図のように取付位置が5段階で調整可能です。  
落下防止のため、左右の取付金具は必ずねじ2本ずつで本製品に固定してください。

取付金具用ねじ締付トルク：約0.5N・m(約5kgf・cm)

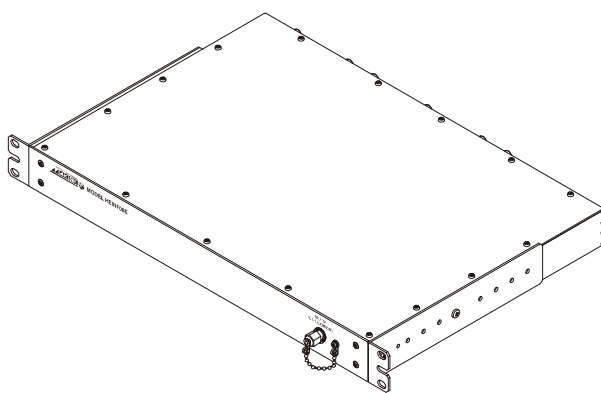
### ◎取付ピッチ

取付金具は下図のピッチで調整可能です。



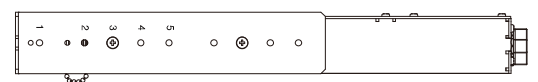
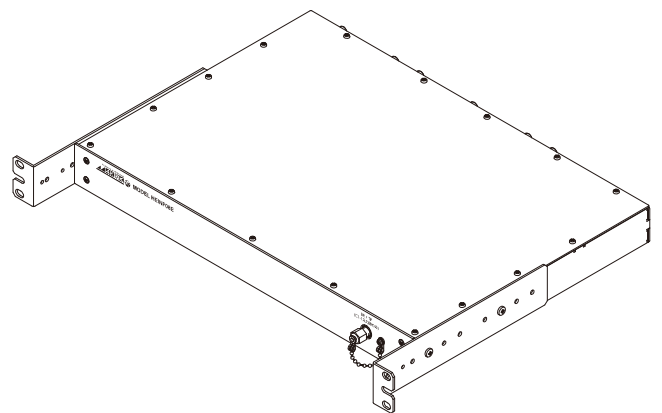
### ◎取付例

#### ■取付金具位置1段目(出荷状態)



側面図

#### ■取付金具位置3段目



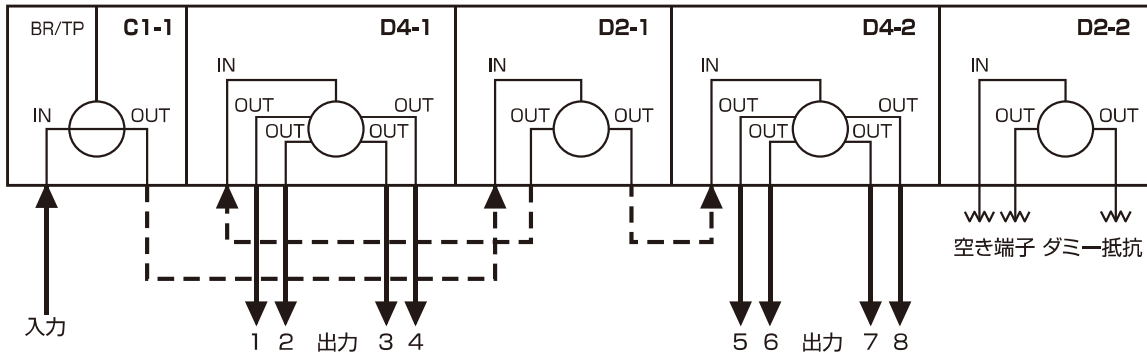
側面図

## 接続例

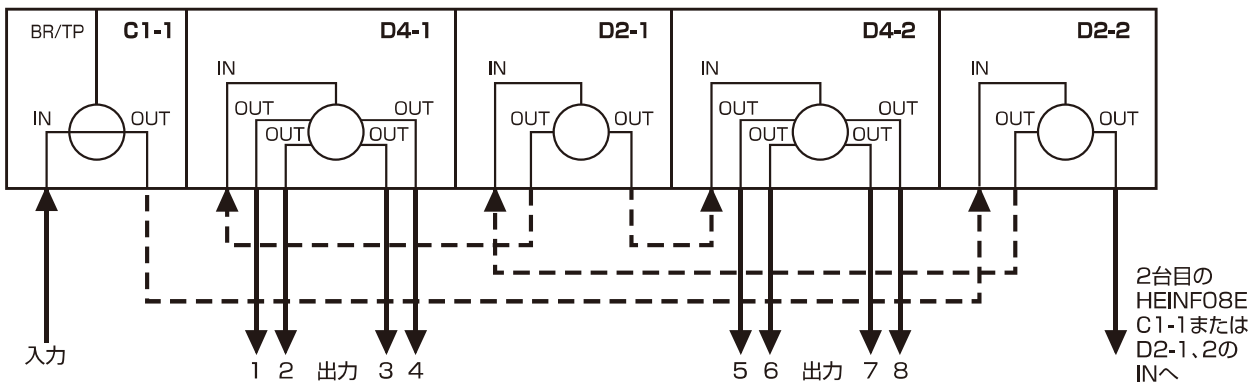
本製品は接続方法により様々な用途でご使用になれます。  
端子間、他機器へ接続するケーブルは別途ご用意ください。

——— 他機器との接続ケーブル    - - - - 端子間接続ケーブル    → 矢印は信号の伝送方向

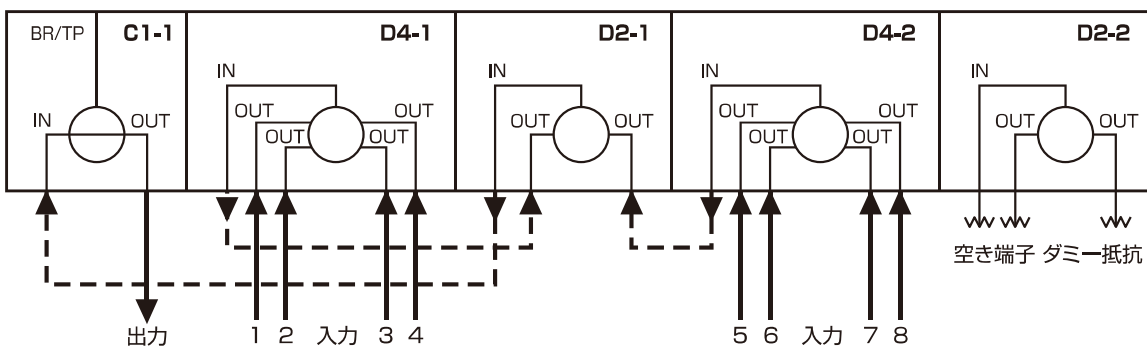
### ○8分配として使用する場合



### ○16分配として使用する場合(本製品を2台使用)



### ○8混合として使用する場合



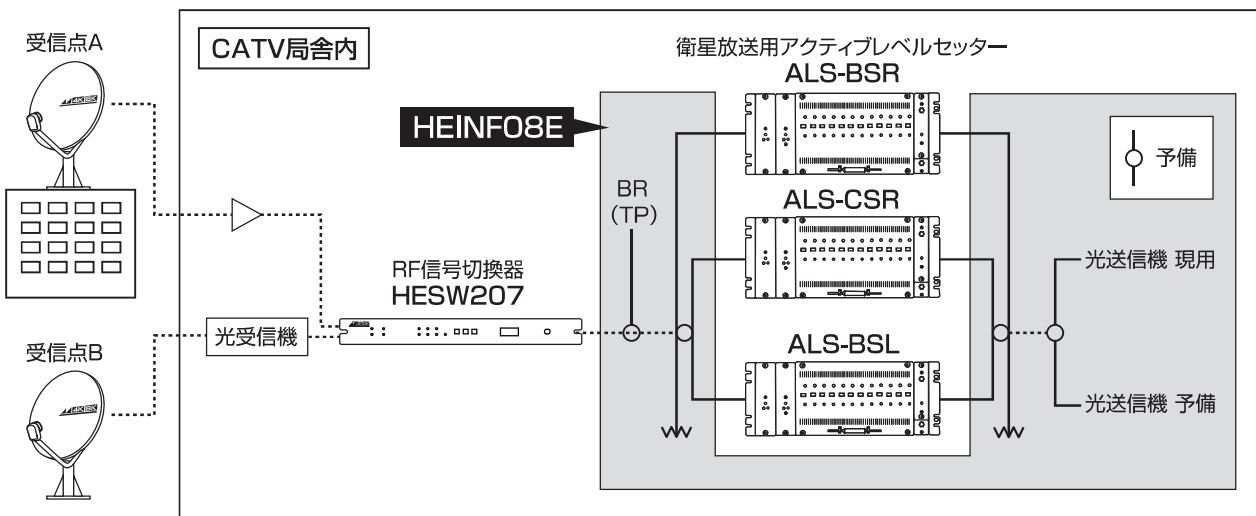
### ポイント

空き端子はダミー抵抗を必ず接続してください。  
BR/TP端子のメタルキャップはしっかり締め付けてください。

## 使用例

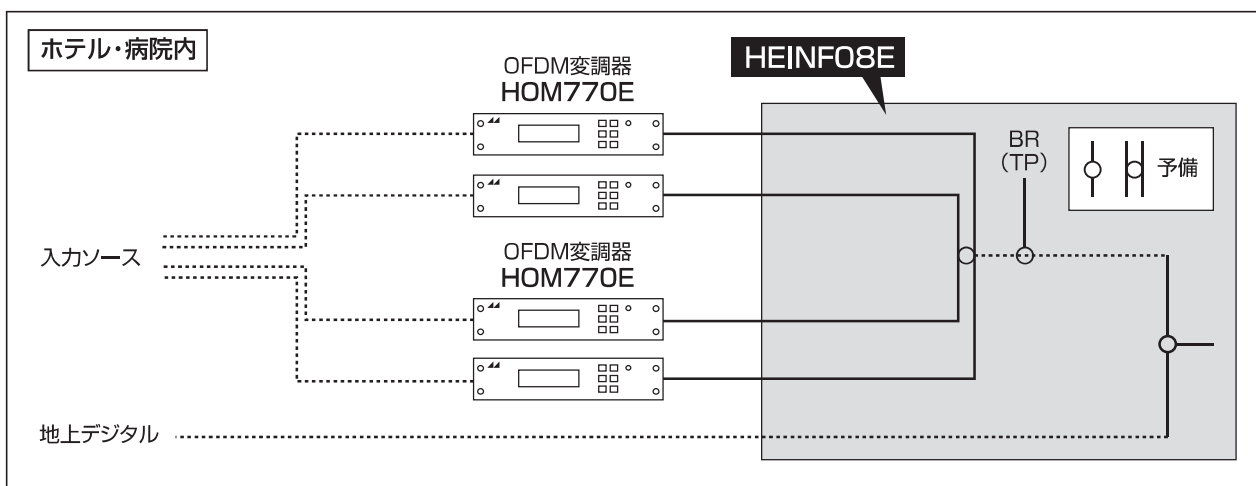
### ●CATV局での使用例

組み合わせ次第で多彩な使用方法が選択可能です。



### ●ホテル・病院での使用例

本製品を2台使用することで16分配や16混合として利用できます。



外観および寸法図

安全上の注意  
廃棄上の注意  
メンテナンス

取扱説明書

各部の名称

標準性能表

設置場所・条件  
同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法・締付トルク

施工説明書

取付方法

接続例

使用例

お客様窓口



0570-091039

ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30  
ナビダイヤル® (土・日祝祭日・弊社休業日を除く)

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8

(ホームページアドレス) <https://www.nippon-antenna.co.jp/>

\*製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。  
5117053 2021年9月